

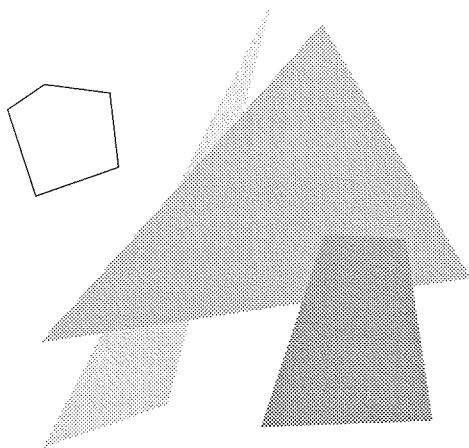
栄養やまなし

No. 61

社団法人 山梨県栄養士会 〒400-0031 甲府市丸の内一丁目10-5 ☎055-222-8593 平成11年 8 月

8・9・10・11・12月の行事予定

8月5、19 県民情報プラザにおける介護保険等展 26日(木) 示コーナー 高齢者栄養相談	10月上旬 栄養やまなしNo62号編集委員会
9月11日(日) いきいき山梨ねりんピック'99	11月初旬 関東地区各県行政担当者及び各県栄養士会長並びに連盟支部長との合同会議 (当番県：山梨県栄養士会)
9月13日(月) 第3回生涯学習研修会	11月13日(土) 第4回生涯学習研修会
9月24日(金) 第2回理事会	11月中旬 栄養なんでも相談(栄養・食生活情報) 検討委員会
10月20日(水) 指導者のための健康栄養セミナー	



目

ニュース	
第15回(平成11年度)通常総会開催	2
生涯学習研修会はじまる	2
県が「いきいき健康ガイド」作成する	2
市町村栄養士、今年新たに2町に配置	2
優良栄養士として、8名が表彰される	2
おめでとう!管理栄養士国家試験合格者	3
案 内	
いきいき山梨ねりんピック'99への協力者を募る	3
生涯学習研修会(第3回4回)	3
指導者のための健康・栄養セミナー	3
健康フェスティバル'99への参加	3
山梨学院短期大学食物栄養科 「第15回管理栄養士国家試験研修会」開催	3
報 告	
管理栄養士国家試験合格者の声 管理栄養士の国家試験を終えて 塩山市民病院 清雲明子	4

次

2度目のチャレンジ	
友愛保育園 渡辺ますみ	4
合格の秘訣は、基礎勉強	
巨摩共立病院 小野滋子	4
会員から会員へ	
「食生活と健康を考える事業」から	
地域活動部会 飯室静江	5
患者さんと接することの難しさ	
山角病院 鷹野 香	5
わたしの職場	
甲府養護学校 長田庸子	6
支部・職域 今年度の活動	6
理事会報告	9
社団法人山梨県栄養士役員名簿	10
賛助会員	11

第15回（平成11年度）通常総会開催

～記念研修会や賛助会員13社の商品展示にも人気～

県栄養士会並びに県栄養士連盟の通常総会が、5月26日県立総合女性センターで多数の会員の出席のもとに開催された。

藤巻会長は、「栄養士を取り巻く社会環境は一層厳しい状況になっている。国でも管理栄養士・栄養士の業務を明確にするために栄養士法の改正とこれに伴う制度の改善が求められている。会員一人一人が資質向上に努め、プロとしての自覚のもとに努力してほしい」との激励を送った。来賓で出席された大西聡健康増進課長は、日頃の栄養士活動への感謝のことばと、昨年県が実施した生活習慣調査結果にふれ、正しい食習慣の大切さを話された。

議事では、報告や提案に対して、予算面や組織強化などについての意見が出された。

午後の記念講演では、「ここまでできる最新の給食管理ソフト」と題して、コンピューターソフトメーカーのソフトム株式会社の管理栄養士上野百代さんが、給食管理ソフトの内容についてスクリーンに大きく映し出されたパソコン画面で解説された。受講者からはこのソフトの詳しい内容についての多くの質問もあり、また台数がまとまれば価格もサービスするとのことであった。

研修会終了後、有料研修会の折り発行した「受講証明書」による、記念品が当たる抽選会が行われ、延べ20名の方に料理の本や図書券が贈られた。

1階ロビーでは、賛助会員13商社による商品の展示紹介が行なわれ、会員とのコミュニケーションの場となった。

※ ※ ※

生涯学習研修会はじまる

～113名の受講申し込み、熱心に受講～

昨年度より検討していた生涯学習研修会の第1回目が、5月13日県立総合女性センターで開催された。

受講申込者は、県内107人、県外6名の合計113名となり、受講者の数が心配だった生涯学習研修会運営委員をほっとさせた。

第1回目は、藤巻会長から生涯学習ガイダンスがあり、その後「栄養士のための医学英語」、「人の一生、誕生・加齢・終身の体変化」などの講義が行われた。研修会の運営は各受講者の当番制で行われており、初日はテキストの配布・料金の受領や生涯学習記録表の交付などがあったが、比較的スムーズに行われていた。

次回第2回目は7月13日(火)に県立女性センターで行われ、この後は、奇数月の13日に行うこととなっている。大木由枝生涯学習研修会運営委員長は「申し込みはまだ行っているので多数の会員が受講されるようお願いしている」と言っていた。また、「職域や支部主催の1日単位の研修会も単位認定できるので、主催者が申請するようにしてほしい」と言っていた。

県が「いきいき健康ガイド」作成する

～県民の「生活習慣アンケート調査」をもとにガイドブックを作成～

県は、山梨県食生活改善推進員連絡協議会に委託して、平成10年11月に「生活習慣アンケート調査」を行い、976世帯、2,602人から回答を得た結果を発表した。調査は、栄養・運動・休養について行い、栄養の項目では「朝食欠食者が6人に1人いる」、特に20歳代から30歳代の男性の欠食率が最も多く、欠食をするきっかけとなる小中学生からの対応が大切であることが浮き彫りとなった。また、間食の喫食率では、10歳代を除くと50歳代の女性が最も多かった。

外食の喫食率では20歳代の男性が最も多く、次いで40歳代の男性であった。運動では「運動をしている人は2人に1人」で最も運動習慣のないのは20歳代女性の76.0%であった。

休養では「5人に1人が休養がとれていない」であり、30歳代男性が最も多く、各年代とも女性より男性の方が休養がとれていない割合が多く、休養がとれていない割合が最も少ないのは50歳代女性であった。さらに、気をつけている疾患では男女各年代とも肥満が最も多かった。

県ではこの結果をふまえ、調査結果とそれをもとに県民がこれからどんなふうに変えていってほしいのかをパンフレット形式にまとめた「いきいき健康ガイド」を作成し、普及啓発に利用している。

※ ※ ※

市町村栄養士、今年度新たに2町に配置

～御坂町・白州町～

地域保健法の制定に伴い、市町村栄養士の配置要望が高まっているなか、平成11年度から新たに御坂町と白州町に配置された。

これは必然的な行政需要のほか住民や本会などの強い陳情活動、さらには長い間の地域活動部会員の市町村への事業の取組が認められたものと思われる。

これで県下には19市町村に20人の市町村栄養士が配置された。

※ ※ ※

優良栄養士として、8名が表彰される

～日本栄養士会通常総会の席上～

日本栄養士会の平成11年度通常総会が行なわれ、藤巻一雄会長のほか代議員として、老沼喜久江・斎藤正治両副会長・田草川憲男総務部長が出席した。

総会に先立ち日本栄養士会顕彰規定による優良栄養士の表彰が行なわれ、本会より推薦されていた8名の会員がめでたく受賞された。

顕彰者名：根津美智子（山梨学院短期大学）、中村益子（富士吉田市立病院）、水地民子（福祉部会）、鎮目和美（一宮町役場）、笹本菊美（鰍沢病院）、木戸松代（地域活動部会）、栗田恭子（ケアハウスみのぶ）、石井静江（内野保育所）

おめでとう！管理栄養士国家試験合格者

～合格率30.1% 県内合格者は17名～

平成11年度管理栄養士国家試験の合格者が発表されました。本県関係の合格者は次のとおりです。ご活躍を期待いたします。

清雲明子、小林美佐、藤島あゆみ、山本美智江、中島千恵、藤原瑞穂、渡邊ますみ、松田千咲、丸山えみ、小林司之、石部亜矢子、永井理恵、小野滋子、矢寄紀江、五味敬子、渡邊陽子、鶴田美恵子（太字は会員）

案内

いきいき山梨ねりんピック'99への協力者を募る

日 時 平成11年9月11日(土)午前9時～
会 場 小瀬スポーツ公園
内 容 栄養士会は、寿汁のサービスと栄養相談ボランティアとして協力していただける方は、9月3日までに県栄養士会までご連絡ください。

※ ※ ※

生涯学習研修会（第3回 第4回）

9月13日(月) 場所：山梨学院大学
13：30～15：00 ①栄養士のための医学英語Ⅲ
－消化器の構造と働き肝臓他－
山梨学院大学講師 内 田 光 枝
15：15～16：45 ②運動と栄養
－運動時の機能変化と栄養－
山梨医科大学保健学講座助教授 山 縣 然太郎
11月13日(土) 場所：県立総合女性センター
13：30～15：00 ①栄養士のための医学英語Ⅳ
－消化器のしくみ－
山梨学院大学講師 内 田 光 枝
15：15～16：45 ②嚥下困難と食事
－適切な食事と安全に食するために－
山梨医科大学保健学講座助教授 山 縣 然太郎

※ ※ ※

指導者のための健康・栄養セミナー

日 時 平成11年10月20日(木) 10時より16時まで
会 場 山梨県立総合女性センター
甲府市朝気1-2-2 TEL055-235-4171
内 容
10：00 受付
10：30～12：30 講演「スポーツ栄養」
筑波大学体育科学系教授 鈴木正成先生
12：30～13：30 昼食
13：30～14：00 大塚製薬情報提供
14：00～16：00 講演「高齢者の栄養管理」
聖マリアンナ医科大学病院栄養部部長 中村丁次先生

健康フェスティバル'99への参加

日 時 平成11年11月7日(日)午前10時～
会 場 アイメッセ山梨
内 容 講演・健康づくり広場・食生活展・ヘルシーレストラン
こぞってご参加ください。

※ ※ ※

山梨学院短期大学食物栄養科 「第15回管理栄養士国家試験研修会」開催

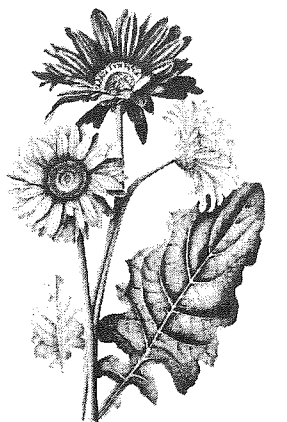
期 日 第1回目 平成11年10月30日(土) 9：30～16：30
第2回目 平成12年2月26日(土) 9：30～17：00
会 場 山梨学院短期大学45号館201教室
内 容
第1日目
9：00～9：30 受付
9：30～10：55 栄養学総論
11：05～12：30 生化学
12：30～13：30 昼食
13：30～14：55 健康管理概論
15：05～16：30 食品衛生
第2日目
9：00～9：30 受付
9：30～10：55 解剖生理学
11：05～12：30 病理学
12：30～13：30 昼食
13：30～14：55 給食管理
14：55～15：25 管理栄養士国家試験の概要
15：35～17：00 公衆衛生学

参加費 1回につき3,500円（資料代、受講費）

2回参加の方は7,000円

申込方法 参加費は郵便為替（申込時納入のこと）
なお、住所、氏名、年齢、勤務先、電話番号、参加日を記入したものを同封の上、「管理栄養士国家試験研修会参加希望」と封筒に朱書きし、平成11年10月19日(金)までに申込のこと。当日自家用車でお越しの方は、その旨も書き添えて下さい。

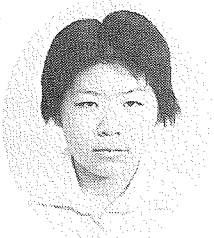
申込先 〒400-8575 甲府酒折2-4-5
山梨学院大学食物栄養科「公開講座」宛
問い合わせ先 ☎055-224-1400（広瀬）1432（根津）
1433（仲尾）



管理栄養士国家試験合格者の声

管理栄養士の国家試験を終えて

塩山市民病院 清 雲 明 子



管理栄養士の国家試験に受かって、今はホッとした気持ちと目標が達成されたという気持ちです。それは4年制の大学に入ってこの試験のために勉強してきたのに、受からなければ1年間勉強しなおしというもの。今回受からなければ、その後の1年間は長いし、それに今年受からなくても、来年は絶対受かるというものではなく、2～3年受からなければ、受かる見込みはないとまで言われています。

でも受けようと勉強している人や、受けた人は知ってのとおり、試験科目は13科目（免除の人は6科目）、問題数だって午前中80問午後70問計150問（科目によっては5問と少ないものもあります）、時間も午前中2時間、午後1時間45分と限られているのです。これをどうやって勉強するかは、自分しだいかもしれません。私の場合は4年制だったのですが、6科目免除にはならず試験科目は13科目でした。13科目といっても、同じような分野ではなく、臨床に関する分野、生化学的な分野、食品とその栄養に関する分野、疫学的な分野、調理や集団給食に関する分野、衛生学に関する分野など幅広くあり、はっきり言って覚えるのが大変です。そこで私は約1年ぐらい前から期間を決めて、科目ごとに出現傾向と照らし合わせ、何年も出題されているような重要な点をまとめ、その後過去問題をこなすことによって出題内容も把握できるようになるのです。そしてなるべくであれば詳しく解説が記載されている問題集でその問題の解答を覚えてしまうのではなく、解説を読み理解すれば、まったくみたことのない問題も理解できるようになります。なかには、同じ問題（自分がやったことのある問題）であれば理解しているのに、まったくみたことのない問題になると理解できないという人は、解答の丸暗記になっているのかも。解答の丸暗記では力につきません。また、ある程度過去問題をこなしたのであれば、本番の試験ながら時間を計って自分の実力を知るのもよいのでは。そしてやはり、見直しをして自分のものにして下さい。

とにかく土台をしっかりと築き上げて、戦力をつけるというように、要点をまとめて、過去問題をこなし、最後1ヵ月ぐらいは本番の試験ながら時間を計ってやる。私はこの方法でした。

この勉強法は性格的にコツコツタイプの人間のやり方かもしれませんが。それにこれはあくまで私の場合でみんなにおすすめていいのか、私自身この勉強法で受かったのかもわからないのですから。最後にこれから管理栄養士の国家試験を受けようとしている人は自分にあった勉強法を見つけて自分なりに頑張ってください。誰のためでもなく、自分のためです。

（日清医療食品）

2度目のチャレンジ

友愛保育園 渡 辺 ますみ



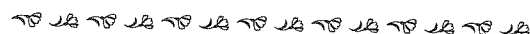
この度、晴れて管理栄養士国家試験に合格することが出来ました。

私は上のタイトルからも分かるとおり2回目のチャレンジでした。昨年は勉強の仕方もよく分からず、とりあえず問題集を一通りしただけで、テストに向かい予想通り不合格。勉強しなかった自分を反省するとともに、国家試験の厳しさを味わいました。

今年は自分に出きる限りの勉強をしようと年明けくらいから少しずつ始めました。仕事をしながらの試験勉強は思っていた以上に大変でしたが、職場の方々や周りの人達に励まされながら頑張ることが出来ました。

今回私が使用した参考書は南江堂の「管理栄養士国家試験の傾向と対策」と、同じく南江堂の教科別「合格への1800題」という問題集です。まず傾向と対策で苦手な所を見つけて、そこを重点的に問題集で復習しました。インターネットを使って過去の問題をインストールし、プリントアウトして力だめしに本番同様の時間配分で模擬テストをしたりもしました。保育園に勤めているため、栄養管理だけが全てではありません。延長時や早朝には子供と一緒に遊んだり、バスの当番の時には一緒にバスに乗って送迎をしたりもします。しかし、子供達から教わることも少なくありません。

現在栄養士の必置義務が十分ではないと受け入れ側の問題もありますが、栄養士として就職しても平均勤務年数が短く、他の専門職に比べて職業意識や使命感が乏しいことが指摘されています。職業の細分化・専門化が進み、より高度な専門知識・技術が求められるなかで、栄養士が専門職としての地位を確立するために栄養士の仕事を生涯の仕事として選び、それに専念していきたいと思っています。



合格の秘訣は、基礎勉強

巨摩共立病院 小 野 滋 子



思わぬ朗報に歓喜しました。

思えば病院に栄養士として再就職し、仕事にも慣れてこれから栄養士としての専門性を追求しようと意欲に燃えていた矢先診療報酬が決定されて栄養士では指導点数がもらえず指導業務には携われなくなりました。

栄養士に対する差別だと思いましたが、法には勝てず、管理栄養士を目指す事を決意しました。

仕事と家事以外の時間を勉強の時間としましたが、勉強の習慣から遠く離れた今それを習慣づける事はなかなか難しかったです。

全教科の国試の傾向と対策の掲げている本を購入して始めましたが、書いてある内容を暗記しただけでは問題がうまく解けず、遅々たる歩みでも一つ一つ内容を理解しなくてはいけないと思いました。

幸い近い知り合いに最近栄養科を卒業した方がいたのでその方に教科書をお借りして基礎を勉強しました。

再度問題集を総当りして苦手な教科問題を集中的にやりました。自信はありませんでしたが充実感がありました。長い間生きてきてこんなに何かを興味深く真剣にやった事があったのだろうかと思

会員から会員へ

「食生活と健康を考える事業」から

地域活動部会 飯 室 静 江

若草町に春を呼ぶ十日市も終わり、二月としては穏やかな一日、若草町の「老人大学」の場をお借りして、「食生活と健康を考える事業」が開催されました。この日集まったのは、120名の学生さん方で、年輪を重ねた元気な方々でした。まず老人クラブの会長様、栄養士会小笠原支部の支部長様の挨拶があり、私達栄養士の自己紹介から始まり、「介護保険について」「嚥下体操と料理紹介」「高齢者の食生活について」の順で、各部会毎に講演に入りました。介護保険については、大変関心が深く、熱心に聞かれ、多くの質問も出て来ました。又、老人の栄養、老人ホームの説明にも興味深く耳を傾けておられ特に、ホームの行事食の説明には、うなづきながら聞き入る姿は、家庭では失われつつある現在の生活に、昔をなつかしんでいる感じられました。そして、私達地域部会として力を注いだ嚥下体操と家にある食材（特に野菜）を使った栄養ある料理を、三品試食して頂き、学生さんから、薄い味付けで大変美味しかった。家では味付けが濃いのがわかった。又食生活の話は、お嫁さんに聞いてもらいたい。等、意欲的な意見もあり好評でした。

これは、年間事業計画の中の一つとして上げてあった「地域食生活改善事業」を始めて、栄養士会小笠原支部として行なったものです。支部管内の人達の食生活を改善しながら、栄養士会の活動をもっとアピールして行こうという目的で試みたもので、職域の異なる会員がそれぞれ仕事を持ちながら、時間をつくり、心を一つにして、計画から準備へと進み、実現出来た喜びは、次への大きなステップとなった事でした。試食品の準備に於いても、大変楽しくなごやかで、家庭菜園の野菜、又みそ、デザート等持ち寄った、手作りの昼食は、栄養士同士の親睦を深める良い機会にもなったのではないのでしょうか。

来年度からの介護保険制度の施行に共ない、私達栄養士の役割は、以前にも増して重要な部分を占めるものと思っています。元気な高齢者が生き生きと生活出来る社会実現を目指して会員皆で力を合わせて行きたいと思います。（次回は地域活動部会栄養士川村もと江さんをお願いします）

うと可笑しくなりました。

今回幸いにも合格しましたがこれが終着ではなく始まりだと思っております。

これから専門性を追求し知識を深めて納得のゆく仕事をしてゆきたいと思っています。



患者さんと接することの難しさ

山角病院 鷹 野 香

山角病院に勤めて4年目となり、患者さんと接することに少しずつ慣れてきた。精神科ということで、変な気遣いや、それにより患者さんに不快感を与えてしまったり、又、きつい言葉をかけられたりと、とまどうことが多い。

今年に入ってから、栄養士それぞれが一つの病棟の担当になり、病棟訪問を行うようになった。私が担当することになった病棟は、人数が60名弱、ほとんどが老人の方で、全粥食が大半を占めている。昼食時には、全員が行儀良く椅子に座り、名前を呼ばれた順に御膳を取りに行く。特に介助が必要な方以外に、静かに自分のペースで食べている。食事について聞いてみると、笑顔で「おいしい」と言ってくれる方がほとんどで、きざみ食やミキサー食を食べている高齢の方でも、残さずきれいに食べてしまうほどである。病態的には、比較的落ち着いた患者さんが多いため、接し易さはあるが、全然口を聴いてくれなかったり、私が近寄っただけで食べるのを止めてしまったりと、その日その日の変化が激しい方が何人かいるため、接することの難しさを感じる。

研修会等にも多く出席させて頂いており、勉強になることが多くある。先日聞かれた「ヘルスカウンセリングを用いた効果的な栄養指導方法」と題した研修では、私達が患者さんと接する時に必要な態度や言葉遣いを学べた。実際に、自分が聞き手、話し手になってみたり、相手の態度、表情一つで話し手の感情が変化したりと、人と接すること特に、相手が何を言おうとしていて、それを十分に理解できているのか、会話することの難しさを改めて実感した。

この様な研修で得た知識を生かし、又、自分自身も日頃から勉強し、患者さんと接していけたらと思う。

（次回は石和温泉病院 金子佳恵さんをお願いすることになりました）

甲府養護学校は、甲府西部のアルプス通りから、ちょっと入った、まだ田畑が点在する閑静な住宅地で、盲学校、甲府西高校、城西高校、池田小学校に囲まれた、文教地区の一角にあります。

学校は、小学部、中学部、高等部に分かれ、ほぼ全員が、高等部まで12年間の学校生活を送っています。

通学は、家族が送迎するか、スクールバスを利用しています。遠方の生徒や、社会生活を経験する生徒のために、寄宿舎が併設されています。

給食は、学校給食（昼食）と、寄宿舎給食（朝、夕、おやつ）に分かれて行われています。

栄養士は、事務室に所属し、児童、生徒、職員の給食費の集金、給食材料の支払い、献立作成、発注、現場指導、食事指導、栄養指導等、めまぐるしい一日を過ごしています。

調理員は3名で、児童、生徒、教職員の合計140名の学校給食と、10名前後の寄宿舎給食を、2交代で作っています。

食事内容は、児童、生徒51名のうち、初期食7名、中期食5名、その他ほとんどの児童、生徒が何らかの再調理を必要としているので、教員がマンツーマンで個々に合った形態で、摂食指導をしています。

初期、中期食のミキサー、カッター食にしても、一食分の食材を全部混ぜての再調理でなく、主食から、デザートまで一品ごとにミキサー、カッターにかけ、児童、生徒に、それぞれの料理の味がわかるように、盛り付けています。

献立は、児童、生徒の状況にあわせて、再調理しやすい食材を選び、柔らかくなるまで火を通す等、工夫しながら提供しています。しかし、食材を限定すると、献立に変化が乏しくなりがちです。自力で食べられる児童、生徒には、献立は同じでも、より多くの食材を使い、味覚を広めています。

又アレルギー等の対応もあり、学校給食イコール大量調理から離れ、年ごとに複雑さが要求されるようになりました。特に初期、中期食を食べている児童、生徒にとって、学校へ登校して給食を食べられることが、いかに、きょうの体調が順調で、無事過ごせるかの、バロメーターにもなっています。生きていくために食べることの重要性が、ひしひしと伝わってきます。児童、生徒の毎日楽しみにしている給食を通して、元気に学校生活を送る一助をになう、やりがいのある仕事ができることを幸せに思っています。



県立甲府養護学校

長田庸子

支部・職域 今年度の活動

甲府支部

重点目標 「組織の強化」

21世紀を目前にして、本格的な少子・高齢化社会が現実になり公的介護保険の導入、年々増加の一途を辿って今や六百万人とも言われる糖尿病患者への対応のため、介護支援専門員・糖尿病療養指導士など様々な制度が発足してい

る。このように大きく変貌する社会に対応し得るには、組織力が肝要であり会員増対策を行い、連帯意識、共通理解を深めることが必要である。

会議

運営委員会…支部の活動が停滞しないよう支部長・副支部長・運営委員による委員会を定期的に開催する。

定期総会…平成11年6月24日 開催

事業

研修会の開催…栄養専門職種として社会のニーズに対応し

得る資質を保持し、さらに、栄養業務の質および内容の向上を図ることを目的として開催する。

第1回 平成11年6月24日(木)

於) 甲府保健所

「糖質について」

一難消化性糖質を主体にして一

各種事業協力…平成11年6月24日(木)

甲府市歯科医師会主催「歯の無料健康相談」に協力

内容) 栄養診断・パネル展示

おやつ・復元食メニュー実物展示

委託事業…本会である県栄養士会との連携を密にし、その活動を支援する。

◇栄養強化麦「骨太家族」普及事業

日下部支部

来年4月の介護保険制度のスタートに向けて病院、施設とも準備が大詰となりつつあります。

栄養士として介護保険にどのように関わっていくかを課題に研修会、又講師を招いての講演会等を予定しています。

8月 研修会、「ビデオ学習会」、意見交換会

11月 講演会、懇親会

2月 研修会

石和支部

会議

定期総会(年1回)

役員会(年6回)

事業

歯と健康の祭典協力(6月5日) 栄養相談・食品展示 研修会

(1) 職場意見交換(6月11日)

栄養、給食管理の現状等について

(2) 「村上先生を囲む料理教室」

スコレー大学の中の事業に参加(11月21日)

身延支部

平成11年

6月4日 役員会

6月17日 定期総会、研修会～調理実習・手打ちそば

7月2日 衛生研修会～講演～

10月 役員会

12月 研修会～講演～

平成12年

1月 役員会

2月 施設見学・活動事例発表会 於: 鯉沢病院
一各職域部会事例発表一
3月 役員会

小笠原支部

会議

4月 役員会

5月 定期総会

7月 役員会

10月 役員会

平成12年

1月 役員会

事業

5月21日 研修会「訪問栄養指導の実践について」

6月25日 給食施設関係者研修会

8月20日 研修会「芦安村給食センター」見学

11月 研修会

2月 食生活と健康を考える授業

随時 支部ニュースの発行(職場の紹介、年間行事の報告等)

歯科関係事業への協力

6月 歯科保健衛生相談事業

荏原支部

目標 職域の異なる会員の相互理解と資質の向上を図ることを目的として、且つ多様なニーズに応えるため、体験学習を中心にした栄養指導症例検討会を開催します。

(主要事業)

① 期日 平成11年6月6日(日)

場所 荏原市富士見モール

内容 歯の無料相談 被相談者75名

② 期日 平成11年7月17日(土)

場所 長野県富士見町

そば処「おっこと亭」

そば打ち体験教室

③ 期日 平成11年10月15日(金)

場所 北巨摩合同庁舎(荏原保健所)

内容 栄養指導症例検討会

症例2題

吉田支部

6月6日 無料歯科相談 富士急ターミナルビル

7月2日 総会・研修会 忍野村学校給食センター

8月9日 集団給食施設関係研修会 昭和大学

11月12日 視察研修 フードケータリングショー 東京

1月 研修会、懇親会

栄養士学習会: 毎月第3金曜日、

午後 3 時30分～（山梨赤十字病院ラウンジ）

大 月 支 部

第 1 回研修会 5 月20日(木) 大月保健所会議室

- (1) 平成10年度事業報告
- (2) 平成10年度決算報告
- (3) 介護支援専門員養成講習会受講資格者試験について
- (4) 情報交換

第 2 回研修会 7 月15日(木) 大月保健所会議室

- (1) 講演 テーマ「食事の介助について」
講師 大月市立中央病院
主任作業療法士 坂本千恵美氏
- (2) 情報交換

第 3 回研修会 10月21日(木) 大月総合福祉センター

- (1) 調理実習
「介護食の実践について」
- (2) 情報交換

第 4 回研修会 2 月10日(木)

- (1) 施設見学
- (2) 役員改選
- (3) 情報交換

学校健康教育部会

当部会は、全員が学校栄養士会の会員でもありますので、学校栄養士会全体の中で活動をすすめています。

近年の多様化する社会状況の中で健康、食教育としての学校給食の充実のために資質、技術の向上を目的に研修会、講習会等を予定しています。

研究教育部会

本部会は、平成10年度に日本栄養士会の職域名称変更に伴い、教育養成部会から「研究教育部会」に変更となり、併せて部会員についても教育に携わる栄養士と試験研究機関、企業の栄養・食品開発等の研究室に所属する栄養士となりました。本県においても、集団給食に関わらない食品会社などに勤務する栄養士の方々は多数おられますが、従来の職域部会では所属していても中途半端な立場であったのではないかと思います。そこで本年度、新卒で食品会社に勤務する人から、本部会への所属を勧めておりますが、現在地の職域部会に所属している方の中で該当される方は、次年度山梨県栄養士会に変更を御連絡いただけたらと思います。したがって研修会等についても、食品加工・衛生分野を含めた内容で考えることを総会においても会員相互に確認しました。

本年度の研修会は、食品会社において製造過程の製造技術について研修後、国民年金保険高齢者保健福祉支援センターの視察を行います。

今後、本部会員それぞれが専門分野の研究をさらに深めるとともに、関連分野について共同研究へと発展することが望まれます。また他分野についても相互に理解する中で、食品開発や専門職養成への示唆が得られるものと考えています。

行 政 部 会

1. 新任・現任行政栄養士研修会

目的：栄養改善事業の展開に必要な知識を習得するとともに、地域住民の多様なニーズに応えるため、様々な角度から地域の実態を把握し、地域に添った栄養指導方法を習得する。

対象：保健所・市町村栄養士

日時：平成11年 6 月18日(金)午前 9 時30分～

平成11年12月10日(金) 〃

平成12年 3 月 3 日(金) 〃

2. 病態別栄養指導研修会

目的：地域保健の新たな展開の中で、保健所・市町村の役割の明確化に伴い機能の強化が求められている今日、地域における対人サービスの担い手である栄養士の資質の向上を図るとともに、健康状態に応じた食生活指導を行う病態別栄養指導事業の推進を図る。

対象：保健所・市町村栄養士

日時：平成11年10月 8 日(金)午前 9 時30分～

平成12年 1 月21日(金) 〃

地域活動部会

研修会（10～ 1 月）

- ・環境ホルモンについて学び、今自分達で出来ることは何か、原点にかえて地球環境を守ることの学習会を開催する。
- ・糖尿病が増えている現在エネルギーの少ない甘味料についてもっと深く学習する。
- ・味の素主催の東京ヤマハホールの研修会に参加して学ぶ。視察
- ・おそば打ち道場での体験学習（10月頃）

集団健康管理部会

集団健康管理部会では、平成11年度部会活動として下記の事業を計画しております。恒例の施設見学会は、東京都新宿区にある国立健康・栄養研究所です。栄養士ならどなたでも一度は見学する価値のある施設です。今年もオープン事業として、他の職域部会の皆様も参加できます。

記

6 月23日(水) 集団健康管理部会 総会 研修会 懇親会

場 所 県立総合女性センター 14時～16時

研修会 厨房給湯設備の必要熱量計算について

懇親会 厚生年金会館 総会及び研修会終了後

11月17日(水) 施設見学会

見学施設 国立健康・栄養研究所

時 間 13時～15時

現地集合 正面玄関12時50分

病 院 部 会

1. 本部会は病院栄養士としての専門職であることを自覚し、脱落会員の防止、未入会員の入会勧奨を積極的に展開する。
2. 管理栄養士国家試験皆受験の促進と協力。
3. 医療職種としての位置付けの確立に努力する。
4. その他 連絡網を改正配布。

研修計画

＊先進病院見学と研修 新装なった市立甲府病院

申込み 9 月中旬 先着40名

日時…平成11年10月14日(木)現地13時45分集合

①見学 ②研修…内科外科の検査について

＊病態又は一般研修予定… 1 月下旬～ 2 月の予定

内容…カルテの内容が理解できるための研修

・お知らせ

平成10年度まで部会費を 1 人1,000円徴収してきたが、3 分の 1 程度の納入状況であり、公平に欠くので部会費を廃止。受益者負担の考え方で研修会、講習会等参加費を徴収することとした。

・お願い

中込文江、鷹取末春、磯村一美、3 名が退会しました。連絡網をご訂正ください。

福 祉 部 会

（老人部）

11月上旬 フードケータリングショー見学（浦安）

11月中旬 関東ブロック老人福祉給食研修会（静岡）

（身障部）

10月20日 施設見学（宝山寮）

3 月15日 役員会（引継ぎ）

（児童部）

6 月19日 総会及び研修会

乳幼児の体のしくみと食事の関係

講師 吉田保健所長 田中均先生

8 月21日 新人研修会

10月16日 研修会

乳幼児の食事について

講師 名古屋短期大学助教授 小川雄三先生

11月25～26日 関東第二ブロック研修会（発表）静岡

理事会報告

（平成11年度第 1 回）

日 時 平成11年 7 月 9 日（金）

会 場 県立総合女性センター 2 F 会議室

出席役員：藤巻一雄会長、老沼喜久江副会長、斉藤正治副会長、中村大家常任理事、田草川憲男理事、大木由枝理事、大石正子理事、橘田貞江理事、竹ノ内恵美子理事、河西一三理事、藤井まさ子理事、古屋百合子理事、岩間福巳理事、清水正生監事、森田園子監事、事務局穴水美紀主事

委任状提出者：石坂恵子理事、山本賀子理事、駒井裕子理事

欠 席 者：金子義憲理事、高石梅子理事、小林真実理事、小淵正子理事、深沢清子監事

司 会：斉藤正治副会長

課 題

(1)経過報告

議長（藤巻会長）の挨拶の後理事会次第にそって、経過報告並びに議事進行がなされた。

1. 第14回通常総会について

・通常総会の出席者が少なすぎる。もう少し出席してほしい。研修会の給食管理ソフトの解説は良かったと思う。

2. 第41回日本栄養士会通常総会について

・斉藤副会長から会長代議員 3 名（斉藤、老沼、田草川）が出席したが、詳しいことは栄養日本 6 月号を参照してほしい。

3. 生涯学習研修会について

・大木理事より第 1 回研修会は、申込者120名のうち113名が出席された。久しぶりの耳慣れない英語で大変だったが、回を重ねるごとに慣れてくると思う。第 1 回目はスムーズに行われたが、悩みは来年度どのような講座を組んだらよいか心配だ。

4. 第51回国民体育大会冬季大会実行委員会献立専門委員会について

・中村常務理事から国体冬季大会事務局から献立専門委員に藤巻会長、中村常務理事に委嘱の内定があったが、辞退したい旨申し入れがあり、斉藤副会長に決定した。

5. 地域活動部会担当の『栄養なんでも相談』Q & A 作成について

・Q & A を作成したが、もう少し付け加えるようにする。また、何らかの形として残したい。

議 事

(1)管理栄養士法改正問題

・自由民主党栄養士議員連盟総会及び議員連盟加盟議員との懇談会概要、栄養士法の改正について添付書類を参照してほしい。

参考・改正点

①管理栄養士が行う「複雑または困難」な業務の提示

として「傷病者に対する療養のため必要な栄養の指導」を位置付ける。

②管理栄養士国家試験の受験資格を見直し、専門知識や技能の一層の高度化を図る。

③管理栄養士の資格を「登録」から「免許」とする。

(2)いきいき山梨ねんりんピック'99
・例年どおり実施し、8月中に各理事、監事に詳細内容を配布したい。

(3)・生涯学習研修会
経過報告3と同じ。

(4)指導者のための健康栄養セミナー
・受講者200名を予定している。

(5)関東地区各県行政担当者及び各県栄養士会長と連盟支部長との合同会議
・11月初旬開催予定で各県と調整中（山梨県で開催）

(6)各部の事業検討進捗状況について
・すでに総務部は県の委託事業・在宅栄養士活用システム、栄養なんでも相談事業の検討、見直しを実施した。学術部は生涯学習等の事業に精力的に取り組んでいる。事業部、組織部、広報部についても速やかにそれぞれの事業について積極的に検討を進めてほしい。
・広報部から栄養やまなし検討委員会を7月7日に開催した。内容形式の見直しをしようと思っているが、8月号については変えていない。

(7)健康フェスティバルの開催
・アイメッセ山梨 11月7日(日) 昨年並の事業をしたい。

(8)管理栄養士等未設置市町村に対する要望活動
・理事の協力をお願いしたい。設置市町村は、19市町村で20名（30%）

(9)第56回国民体育大会冬季大会献立専門委員会（7月26日(月)）
・藤巻会長、斉藤副会長出席の予定。

(10)その他

1. 県民情報プラザ県展示コーナー利用計画
平成11年8月から1か月間開設される。その中で12日を除く毎週木曜日に（3日間）栄養相談を栄養士会が受け持つことになった。

10：00～15：00	病院部会	1名	} 3名
	福祉部会	1名	
	地域活動部会	1名	

（パソコンを使って対応する）

2. 事務局より会費納入
口座引き落とし手続きをしている会員は全体の半数である。未手続者の便を考え銀行、郵便局等の数を増やしたらどうかとの話があったが、結局本人自身手続きをやるかやらないかの認識の問題という結論になる。事務局で、手続きをとっていない会員をピックアップして支部、部会の協力を得て会員を勧奨する。

3. 生涯学習研修会実行委員長から
・生涯学習の希望者をまだ締め切っていないので、申し込みを受け付ける。

4. 集団健康管理部会から
・11月17日(水) 国立健康栄養研究所見学会
PM1：00～5：00 現地集合、現地解散
オープンな参加なので多数の方々参加をお願いしたい。

☆ 賛 助 会 員 ☆

（順不同）

平成11年 7月31日現在

商 社 名	電話番号	代表者氏名	業 務 内 容
イカリ環境サービス(株)	055-241-1755	宮 沢 公 広	防鼠害虫駆除
和泉産業株式会社	055-222-1153	名 取 忠 信	食器、厨房機器
上 田 商 店	055-266-2331	上 田 昭 雄	ソフクリーン、もずく
魚 日 出 (株)	055-235-7648	山 田 日 出 男	鮮魚卸、小売り
大塚製薬甲府出張所	055-276-8581	針 生 均	ハインツ、ボカリエット
オギノ食糧(株)	055-222-5181	荻 野 恒 男	給食材料
(有)オズプリンディング	055-235-6010	小 沢 孝 男	印刷
(株)三和化学研究所甲府営業所	055-226-9010	太 田 徹 男	サンエットA・サンエットL・サンゲンラクト
キュービー(株)東京支店	0423-65-4111	原 田 純 男	ジャネフ、ヘルスフード
甲 信 食 糧 (株)	055-273-4561	中 込 豊 秋	総菜用食品材料部
シキシマ醬油(株)	055-273-6844	天 野 袈 富	醬油、減塩調味料、ジャネフ製品
信濃化学工業(株)	0262-43-1115	小 野 清	食器、トレイ
(株)テンヨ武田	055-235-1141	武 田 辰 夫	醬油、給食材料
(株)日新厨房企画社	055-273-3811	井 上 寛	厨房企画設計管理
(株)はくばく	0556-22-8989	長 沢 利 久	麦の総合食品メーカー、強化精麦【骨太家族】
宮坂醸造(株)	055-241-8181	宮 坂 伊 兵 衛	味噌
湊 興 (株)	055-226-3742	飯 島 忠	鮮魚、煮貝
(株)マルハチ村松	054-622-7200	村 松 善 八	鰹の素、だしの素
森永乳業(株)東京支社甲府営業所	055-276-3249	増 田 敏 雄	ミルク、乳製品
山梨ヤクルト販売(株)	055-237-8960	上 田 敏 一	健康科学ヤクルト
(株)やまひろ	055-276-0714	広 瀬 順 作	総合医療品部
雪印乳業(株)甲府営業所	055-251-7311	木 村 義 男	ミルク、乳製品
北沢産業株式会社甲府支店	055-226-2800	森 沢 茂 男	厨房設計管理
第一出版株式会社	03-3291-4576	栗 田 元	栄養・調理関係書籍
新日本規格出版(株)	03-3269-2220	河 合 善 次 郎	栄養関係法規、栄養コンピュータ
スリーライン株式会社	03-3433-0021	岩 嶋 徳	プラスチック業務用機器
中央法規出版株式会社	03-3379-3861	莊 村 多加志	食品衛生、栄養関係書籍出版
三信化工株式会社	03-3861-4331	島 谷 好 夫	メラミン、ポリプロ食器
武田薬品工業(株)フードビタミカンパニー	03-3278-2693	赤 松 順 一 郎	強化米【新玄】
(株)ニチブンP M事業部	052-243-5511	原 野 克 己	ビジュアル栄養科学事典【サルビオ】
三鳥食品(株)横浜出張所	03-3317-1212	日 名 田 俊 文	ふりかけ、レトルト食品
(株)H+Bサイエンス関東支店	03-5285-0561	小 野 弘 治	特殊栄養品、低エネルギー食品【マービー】
ブリストル・マイヤーズスクイブ(株)	0425-24-6711	外 川 賢 治	アイソカルファイバース・アイソカルRTU・プディング
ダイナポット(株)新潟出張所	025-285-1561	高 本 英 明	ファイバー入りキッドタイプ【エンリッチ】
(株)マインド	03-3498-3024	松 井 忠 忠	カルライス、粥のもと、白がゆ
テーオー食品株式会社	03-3952-1381	河 内 釣 一	ファイブ・ヘルシー・カレー
鍋林(株)甲府支店	055-237-0371	林 昭 夫	保温食器、液状栄養食品
(株)岩城ハウスウェア	03-5606-7211	赤 坂 敏 夫	軽量強化磁器【イワキホワイトチャイナ】、強化耐熱ガラス食器
テルモ株式会社	0263-48-0701	筒 井 和 實	医療用食品の製造、販売
東洋羽毛工業株式会社	0426-75-8811	丹 羽 茂 忠	羽毛フロン
国際化工株式会社	03-3495-2261	神 末 尚 武	合成樹脂食器全般製品販売
東京サラヤ(株)横浜営業所	045-943-2050	行 田 益 郎	食品衛生材料製造販売、栄養食品の製造販売
(株)カイゲン横浜営業所	045-472-3039	笹 川 博 司	医療用機器、薬品、健康食品製造販売
日清医療食品(株)中部支店	0263-39-0440	田 村 耕 一	給食受託業務、給食材料、濃厚流動食シリーズ
(株)ヤクルト本社医療品部東京営業所	03-5624-6211	中 島 忠 男	医療品営業、カロリーアン
(有)サン・アスター	0423-69-4568	高 橋 亀 八 郎	マナイタけずり、包丁とき
ホリカフーズ(株)	0257-94-5334	今 野 勝 吉	流動食、ミキサー食、たんばく制限食
(株)ジャパンメディカル	055-222-1621	上 森 美 彦	臨床検査受託、医療、資材販売
(株)ニューファミリー	03-3432-7010	柴 田 明	がん保険、介護年金保険等の取扱い
(株)川崎フードモデル	0846-22-2588	川 崎 伸 野	栄養指導用フードモデル製造、販売
日研化学(株)甲府出張所	055-222-0806	藤 森 敏 雄	医療用食品、医薬品製造販売
ホシザキ東京(株)甲府支店	055-237-7126	坂 本 寿 彦	温冷配膳車、電解水生成装置、牛乳保冷車

社団法人山梨県栄養士会役員名簿

（平成11年度）

役 職 名	支 部 長 ・ 職 域 部 会 長 名	氏 名	勤 務 先
会 長	大 月 支 部 会 長	藤 卷 一 雄	大 月 市 立 中 央 病 院
副 会 長		老 斎 久 江	
常 任 理 事	集 団 健 康 管 理 部 会 長	中 田 草 川	山 梨 県 栄 養 士 会
総 務 部 長		石 小 大 憲 恵 正	
事 業 部 長	地 域 活 動 部 会 長 ・ 総 務 部 長	大 古 河 西 子	山 梨 県 栄 養 士 会
組 織 部 長		石 小 大 憲 恵 正	
学 術 部 長	甲 府 支 部 長 ・ 事 業 部 長	藤 井 石 井	山 梨 県 栄 養 士 会
広 報 部 長		石 小 大 憲 恵 正	
理 事	身 延 支 部 長 ・ 事 業 部 長	藤 井 石 井	山 梨 県 栄 養 士 会
理 事		藤 井 石 井	
理 事	藤 井 石 井	藤 井 石 井	山 梨 県 栄 養 士 会
理 事		藤 井 石 井	
理 事	石 和 支 部 長 ・ 組 織 部 長	藤 井 石 井	山 梨 県 栄 養 士 会
理 事		藤 井 石 井	
理 事	研 究 教 育 部 会 長 ・ 学 術 部 長	藤 井 石 井	山 梨 県 栄 養 士 会
理 事		藤 井 石 井	
理 事	広 報 部 会 長 ・ 広 報 部 会 長	藤 井 石 井	山 梨 県 栄 養 士 会
理 事		藤 井 石 井	
理 事	福 祉 部 会 長 ・ 広 報 部 会 長	藤 井 石 井	山 梨 県 栄 養 士 会
理 事		藤 井 石 井	
理 事	学 校 健 康 教 育 部 会 長 ・ 広 報 部 会 長	藤 井 石 井	山 梨 県 栄 養 士 会
理 事		藤 井 石 井	
理 事	行 政 部 会 長	藤 井 石 井	山 梨 県 栄 養 士 会
理 事		藤 井 石 井	
監 事	行 政 部 会 長	藤 井 石 井	山 梨 県 栄 養 士 会
監 事		藤 井 石 井	

編・集・後・記

暑い夏の到来で調理の現場は衛生管理に細心の注意をはらいながらの業務で大変ですね。

「栄養やまなし」No61号をお届けいたします。

生涯学習、ニュース、案内、会員の声等情報がいっぱいです。活用をお願いします。会員仲間同志でご愛読をおすすめください。

なお、新鮮な情報の提供をお願いします。

広報部 駒井



**平成10年度会費が未納の
会員は至急ご納入ください。**

金額 12,500円

会費振り込み口座～会費は自動振込みで～
手続きは、県栄養士会へお問い合わせください。

山梨中央銀行甲府駅前支店
普通預金口座 287296
社団法人 山梨県栄養士会

編集委員

編集委員長 大石 正子

総括 藤巻 一雄 老沼喜久江 中村 大家

広報部 岩間 福巳 駒井 裕子 小林 治子

事務局 穴水 美紀

栄養やまなしNo.61 平成11年8月1日発行

発行所 社団法人山梨県栄養士会

〒400-0031 甲府市丸の内1-10-5

TEL・FAX 055-222-8593

栄養なんでも相談電話 055-222-8140 ()

貸し出し用ビデオのご案内 会員無料

個人やグループの学習に活用して下さい。
お問合せは、県栄養士会まで電話してください。

「栄養指導のためのヘルスカウンセリング」 2時間15分

県主催の「病態栄養指導者研修会」の様相を収録

講師：ヘルスカウンセリングインターナショナル 小森 まり子

「Dr.石川の明日の健康」

第1巻 健康づくり総論 ～3つの健康～

第2巻 高血圧教室 ～減塩を中心に～

第3巻 糖尿病教室 ～食事療法の動機づけ～

第4巻 健診の事前学習

第5巻 健診の事後指導

第6巻 ありがとう 肝機能障害

第7巻 肥満が健康の入口って本当

第8巻 なって得する高脂血症にするには 日本ヘルスサイエンスセンター 石川 雄一

カロリーメイト

カラダに必要な栄養素を、いつでもどこでもスピーディーに補給。
忙しい現代人の食生活をバックアップする、バランス栄養食。



ザ・カルシウム

成人の一日に必要なカルシウム600mgが手軽にとれる。
サクサクおいしい、
ウエハースタイプのカルシウム。



ワナナイト

「健康」の基本は、おなかの元気。
毎晩1本 (One a Night) でオリゴ糖5gが手軽にとれる。
自分のビフィズス菌をパワフルに増やしておなかを元気に。
新しい腸内環境改善飲料。



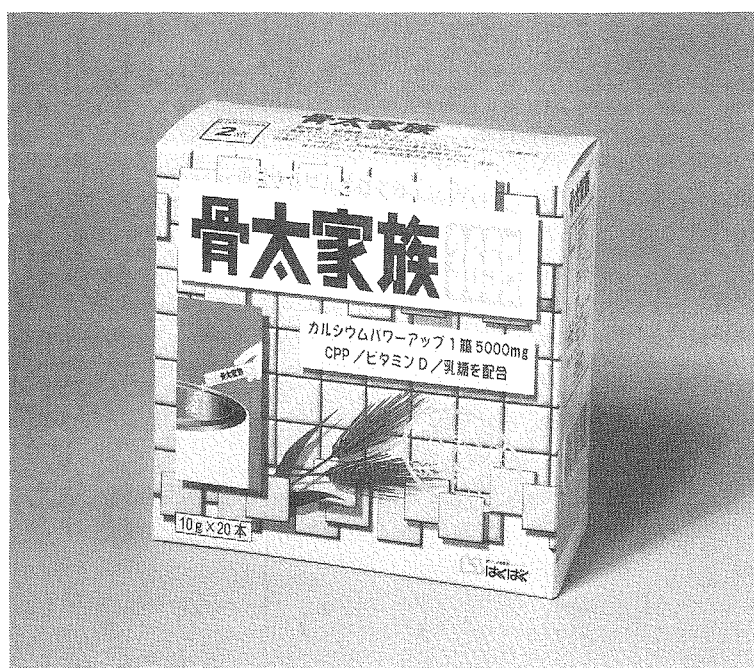
● 指導者のための健康栄養セミナー ●

日時 11年10月20日(水)
場所 山梨県総合女性センター
協賛 大塚製薬株式会社

大塚製薬

骨太家族365日

骨太家族がパワーアップ



お米に混ぜて炊くだけ
家族全員のカルシウム
不足解消！

家族全員の健康は、
毎日のごはんから
だから骨太家族**365日**

《骨太家族365日の商品特長》

- ① 1スティック（10g）に250mgのカルシウム
- ② カルシウム素材は乳酸カルシウム、貝カルシウム、ミルクカルシウム
- ③ カルシウムの吸収を助けるCPP、ビタミンD、乳糖を配合
- ④ 1スティック10g、ごはんの美味しさは変わらない
- ⑤ 20スティック入りで標準小売価格800円と経済的

おいしさ再発見——NEW TRAD IN FOODS

はくばく®

(社)山梨県栄養士会事業部